

無床診療所への検討を進めます

中富良野町立病院は、町内唯一の医療機関として、診療はもとより町の健康診断、ワクチン接種などの疾病予防や介護予防等の役割を担ってきました。

しかし、人口減少など社会情勢の変化により、年々患者数が減少となり、町の負担も年々小さくなっています。

その現状を踏まえて、令和2年度に中富良野町立病院建替等検討委員会を設置し、今後の病院のあり方について検討を行ってきました。

検討委員会では、今後も中富良野町立病院は町の健康診断などの業務を今まで通り対応する必要があること、また、町の負担を少なくするには20床以上の患者が入院できる病院が必要であると考えて、「25床程度の病院」か、町の負担を大きく軽減できる「無床診療所（医師2名体制）」の2パターンで今後の状況を見ながら検討することとしていました。

検討後には、コロナ情勢にも対応しながら患者数の確保に努めてきたところですが、検討委員会で協議した「25床程度の病院」に必要な入院患者数の確保ができていない状況です。

町の財政負担が毎年大きいこと、また、今後老朽化した病院を建て替える必要があるため、現在の中富良野町立病院に見合う施設には、「無床診療所（医師2名体制）」が適切であると考えました。

今後は、町民の皆さまへのご説明やアンケートなどを実施しながらご意見を拝聴し、令和6年度を目途に無床診療所への検討を進めます。

また、検討状況などの進捗は、広報誌を通じて町民の皆さまへお知らせします。

